

パネル発表「みんな なかよし！ー動物あつての子どもの心ー」

窪田美穂子

はじめに

本校は、町田市の南に位置し自然に恵まれた住宅地の中にある12学級の小規模校である。その学校にウサギ3匹とチャボ14羽、ウコッケイ1羽が住みついたのは4年前のことであった。生後3ヶ月の真っ黒な私を見て飼育委員会の子ども達は、「おはぎ」と名づけてくれた。担当の先生はお彼岸のおはぎには似ていないと反対してくれたらしいがつくし野っ子の決定はくずせなかったらしい。その後、弟の「ゴエモン」と妹の「ハナ」がやってきたのである。当時の飼育小屋では、ウコッケイ2羽が寂しそうにしていたのである。その後、4年生が総合的な学習でチャボの観察をし、その後ヒナが生まれ、今に至っているのである。

日常は、飼育委員会が私達の世話をしてくれているが、委員会でない子ども達も遊びにきてくれる。学校には、ウサギを抱く名人やウサギ語が分かる子どもがいて、私達を10m離れたところまで連れ出して散歩をさせてくれる。また、14羽のチャボには全部名前がついている。頭の上にのせてくれる子、木の枝に登らせてくれる子、腕につかまらせてくれる子等、みんなが優しいのである。休日や祭日も委員会の子も達や担当の先生がえさと水やりにきてくれる。夏期・冬季休業中は4・5・6年生が当番を決めて来てくれるので、安心である。つくし野っ子の優しさは私達からのプレゼントかな・・・

1 飼育委員会の活動

- ・4月&9月 前期・後期委員会発足
- ・活動内容と命の重さについての話し合い
- ・委員会日の活動と当番活動の内容確認
- ・飼育小屋の掃除とえさ・水のやり方の練習
- ・当番表の作成

活動内容 「愛はたっぷり！」

- ① 健康観察
 - ② 水とえさやり（水&野菜とフード）
 - ③ ふんの掃除
 - ④ 抱いたりさわったりして遊ぶこと
- 優しい心で接するとウサギは耳を寝かす

2 飼育小屋の掃除と工夫

- ・月1回の委員会活動日は大掃除
- ・ウサギ小屋、ウコッケイ小屋、チャボ小屋と分担して掃除をし、その後、5年生が育てた米の藁や校庭の落ち葉を小屋の

中に入れる。寒さ対策とウサギの餌や遊び場にもなる。

- ・小屋の周り一部分をビニルシートで囲む寒さ対策として主事さんにつけてもらう。

3 えさの工夫

- ・日常は飼料フードと給食業者からいただく野菜（キャベツ、レタス、ハクサイ等）と残菜（ニンジン、葉もの）
- ・長期休業中は飼料フードと各家から持参してもらう。米やニンジン、葉もの

4 子どもとのふれあい

- ・休み時間
- ・生活科や理科、図工の授業での活用

5 町田市獣医師会の協力

- ・近所の獣医の先生達が、飼育小屋の環境や飼育動物を見て助言してくださる。

6 子どもとのふれあい



飼育小屋と飼育委員会の児童



ウコッケイの小屋の掃除

(町田市立つくし野小学校教諭)